

| | | |
|------------------------------|----|----|
| 鳥類 ～川沿いの地域で見られる鳥類～ | 分野 | 自然 |
| | 地域 | 全域 |

| 科 | 名称（季節移動関係） |
|--------|--|
| カイツブリ | カイツブリ（留） |
| ウ | カワウ（冬）ウミウ（冬） |
| サギ | コサギ（留）ゴイサギ（留）ササゴイ（夏） |
| カモ | カルガモ（冬）オカヨシガモ（冬） |
| ウグイス | ウグイス（留漂）セッカ（留）オオヨシキリ（夏） |
| クイナ | ヒクイナ（留）※写真1 バン（留）オオバン（冬） |
| タマシギ | タマシギ（留） |
| チドリ | コチドリ（留）シロチドリ（留） |
| シギ | クサシギ（冬）イソシギ（留）※写真2 タシギ（冬） |
| カモメ | セグロカモメ（冬）※写真3 |
| カワセミ | ヤマセミ（留）カワセミ（留） |
| ツバメ | ツバメ（夏）イワツバメ（留）※写真4 |
| セキレイ | キセキレイ（留漂）ハクセキレイ（留冬）タヒバリ（冬） |
| ミソサザイ | ミソサザイ（留冬）※写真5 ミソサザイは、開けた川岸でなく暗い溪流沿いにいることが多い。 |
| ホオジロ | ホオジロ（留）アオジ（冬） |
| アトリ | カワラヒワ（留） |
| ハタオリドリ | スズメ（留） |
| ムクドリ | ムクドリ（留漂冬） |
| カラス | ハシボソガラス（留）・ハシブトガラス（留） |
| タカ | ミサゴ（留） |
| キジ | キジ（留）※写真6 |

厳木（厳木川）、相知（厳木川・松浦川）唐津（松裏川・町田川）・北波多（志気川・稗田川・徳須恵川、行合野川）七山・玉島（玉島川）・呼子（江頭川）・鎮西町（湯川）などの堤内地、堤外地（河川敷の草木、低水路）、堤防の茂みなどに上に挙げた鳥たちを見ることができる。

河川敷の樹木、メダケ、雑草を河川水の流れを良くするため刈り取られるがセッカ※写真7、オオヨシキリ、キジなどの繁殖期と重なり繁殖阻害要因となるケースがままある。繁殖期を避けて作業するなどの配慮が欲しい。

◎引用・参考文献（出典）

- ◆レッドデータブックさが 佐賀県環境政策局環境
- ◆佐賀県の絶滅のおそれのある野生動植物 普及版 佐賀県希少野生生物調査 佐賀県環境政策局環境 2001.3
- ◆日本の絶滅のおそれのある野生生物 9 環境庁自然保護局野生 自然環境研究センター 植物2000.12

◎地図・写真・統計資料など



※写真1：ヒクイナ



※写真2：イソシギ



※写真3：セグロカモメ



※写真4：イワツバメ



※写真5：ミソサザイ



※写真6：キジ



※写真7：セッカ

◎エピソード・伝承・うんちく など

港湾など海上に多いセグロカモメが松浦川を遡上、相知山崎の橋付近、徳須恵川を遡上上徳須恵橋の照明灯上に羽を休めたり、水浴びをしたりする。内陸部まで入ると言われるユリカモメが遡上したケースは殆ど目にしない。ミソサザイは河川上流部、薄暗い溪流周辺に姿を見せる。冬は平地に姿を見せることがある。

- ササゴイ（絶滅危惧Ⅰ類種）
- タマシギ（情報不足種）
- ヤマセミ（絶滅危惧Ⅰ類種）
- ミサゴ（絶滅危惧Ⅰ類種）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html